

西尾市行政改革 第2次実行計画（第7号）

平成11年11月22日決定

西尾市における  
公共工事コスト縮減対策に関する行動計画

西 尾 市 に お け る  
公共工事コスト縮減対策に関する行動計画

平成 1 1 年度 1 1 月

西尾市公共工事コスト削減検討委員会

# 目 次

1	はじめに	1
2	西尾市における行動計画について	2
3	行動計画のフォローアップ	3
4	行動計画における具体的施策	4

資料 西尾市における公共工事コスト縮減対策に関する行動計画  
(具体的施策一覧表)

## 1 はじめに

現在の厳しい財政状況下、少子化、高齢化社会から高齢社会への進行、多様化する市民ニーズ等を踏まえて、行政改革の更なる推進が急務となっています。

本市においても、行政改革をより一層推し進めるため、組織機構の見直し、定員適正化の検討に加えて

補助金等の再検討

事務事業の見直し

市民サービスの強化

公共工事のコスト縮減の推進

を重点項目とし、検討委員会を組織して取り組むことになりました。

我が国における「公共工事のコスト縮減の推進」については、日々変動する政治・経済・社会情勢を踏まえ、きたるべき21世紀を展望し、政府全体の取り組みとして、効率的な公共事業の展開を図る目的で平成9年4月、公共工事コスト縮減対策に関する行動指針が発表されました。以後、公共工事担当省庁、愛知県を始め、各市町村においても、政府の協力要請を受け、独自の行動計画の策定が推し進められてきました。

国、愛知県においては、平成9年度を初年度とした3か年で10%のコスト縮減を目標として取り組みがなされ、その最終年度を迎え、一定の成果を上げているところです。

「ひと、まち、自然、文化が煌めく快適交流都市」の実現を目指す本市においても限られた財源を有効かつ効率的に活用し、将来に向けた社会資本整備推進のために、国・愛知県の行動指針及び指導を踏まえ、また、公共工事担当部課間の連携及び関係機関との調整を図りつつ、新たな視点に立って、公共工事のコスト縮減に取り組むため「西尾市公共工事コスト縮減に関する行動計画」を策定しました。

## 2 西尾市における行動計画について

### (1) 行動計画の取組み

この計画は、西尾市が発注する全ての公共工事について、関係各課との連携を強化し、既の実施されている国・愛知県の指針を基本に、公共工事コスト縮減に有効な全ての施策を積極的に取り入れ進めていきます。

この計画における具体的な施策については、従来から取り組まれている有効的施策（国・愛知県の指針に基づく施策を含む。）、縮減の具体的効果が容易に評価できる施策だけでなく、ライフサイクルコスト等を考慮し、縮減効果が得られるまでに長い期間を要する施策についても取り組んでいきます。

公共工事コスト縮減にあたっては、供用性・利便性・安全性・環境保全等に合わせるにより、品質の低下をきたさないように考慮していきます。

また、工事価格の安易な引き下げによる請負者への不当なしわ寄せや品質及び機能低下を招くことのないよう十分に留意していきます。

### (2) 数値目標の設定及び実施スケジュール

この行動計画の策定にあたっては、愛知県における公共工事コスト縮減対策に関する行動計画に準じた取組みを進めていますが、平成12年度から平成14年度の3年間で10%以上の縮減数値を目標として定め、取組みの遅れを取り戻すべく計画から施工に至る4分野について、次のとおり具体的施策を定めました。

#### 公共工事コスト縮減の数値目標（10%以上）

施策分野	数値目標	備考
工事の計画・設計等の見直し	公共工事コストを6%以上の縮減を目指します。	主に発注部課の取組み部分
工事発注の効率化		
工事構成要素のコスト縮減	公共工事コストを4%以上の縮減を目指します。 (努力目標)	主に国・愛知県・市全体での取組み部分
工事実施段階での合理化・規制緩和等		

### 3 行動計画のフォローアップ

- ( 1 ) この行動計画の具体的施策は、平成 1 2 年度から平成 1 4 年度の 3 か年で実施しますが、各施策ごとに縮減効果等の検証を行い、その評価を踏まえて 3 年後を目途に計画の見直しを行います。
- ( 2 ) 縮減効果の具体的な評価手法についても更に検討を進めていきます。
- ( 3 ) 各施策の実施状況の確実なフォローアップを実施していきます。
- ( 4 ) フォローアップの実施にあたっては、施策の実施開始年度から公共工事担当課及び契約検査担当課職員を中心として公共工事コスト縮減推進部会を組織し、事務局を建設部土木課に置きます。

#### 4 行動計画における具体的施策

公共工事コスト縮減に関する具体的施策の検討にあたっては、以下の事項に重点をおいて検討しました。

- (1) 工事の計画・設計等の見直しに関する施策
- (2) 公共工事発注の効率化に関する施策
- (3) 工事構成要素のコスト縮減
- (4) 工事実施段階での合理化・規制緩和等

##### (1) 工事の計画・設計等の見直しに関する施策

( 番号は施策番号 )

###### 計画手法の見直し

社会資本の整備にあたって必要以上に華美や過大なものになっていないか、現状の整備水準が適切か等について、社会資本の計画手法に関し原点に立ち戻って検討を行います。

( 施策事例 )

- ・事業の重点化・効率化を図りつつ計画的な整備の実施
- ・同調施工による効率的な事業の推進など

###### 技術基準等の見直し

現在運用している技術基準等が技術の進歩に比較して遅れていないか等の情報収集を密にし、点検を行います。

( 施策事例 )

- ・集落排水処理場及び農業用排水機場の材料・機器等の仕様の見直しによる汎用品の採用促進
- ・下水処理分区（接続点）の増加など

###### 設計方法の見直し

従前の使用材料を最小とする設計思想から施工手間を含め総合価格で最小となる設計思想への転換（材料ミニマムから労働量ミニマムへ）に向けて設計手法の見直しを行います。

また、最適な構造形式、施工方法を選定するために、設計VE等により幅広い視点から設計内容を検討するシステムの導入を検討します。

( 施策事例 )

- ・設計VEの検討・試行
- ・プレキャストコンクリート製品の積極的活用、大型化・長尺化の検討など

#### 技術開発・意識改革の推進

建設技術の開発にあたっては、コスト縮減に効果的な民間の保有する技術の情報収集とその技術の試行を行い普及を図ります。

また、新技術・新工法に関する職員の意識改革、技術向上を図ります。

(施策事例)

- ・各種講習会、研修会等における建設コスト縮減に関する意識の啓発
- ・愛知県及び他市との連携など

#### 積算の合理化

公共工事の積算において、国・愛知県等との基準改定と整合を図りながら一層の合理化、効率化を目指します。

(施策事例)

- ・積算システムのオンライン化
- ・交通安全費の再検討など

### (2) 公共工事発注の効率化に関する施策

#### 公共工事の平準化の推進

公共工事の平準化を進めることにより、労働力、機械等の有効利用、資材の安定的需要を促すため、他課、愛知県等と連携を含め推進していきます。

(施策事例)

- ・工事発注・工事量の平準化（債務負担行為等の活用）

#### 諸手続の簡素化・電子化等

入札・契約手続、工事関係書類等について、様式の統一を行うと共に、手続きを合理化し、電子化する方策を検討します。

(施策事例)

- ・工事関係書類の簡素化・統一化
- ・工事写真の電子化など

### (3) 工事構成要素のコスト縮減

#### 資材調達のための諸環境の整備

品質を確保しつつ多様な資材調達のための環境整備や、規格・サイズ等の集約による生産効率の向上について検討します。

また、技術レベルの向上に対応した品質検査等の見直しについても検討します。

( 施策事例 )

- ・品質検査等の簡素化

#### ( 4 ) 工事実施段階での合理化・規制緩和等

##### 交通安全対策

許可・申請手続きにおける早期の許可、道路工事の施工範囲等を考慮することによるコスト縮減について国、愛知県の動向を注視し、検討します。

( 施策事例 )

- ・道路工事の許可申請に関する手続きの合理化の検討

##### 建設副産物対策

建設副産物対策については、資源の有効利用、環境保全の見地から非常に重要な問題である一方、コストの視点からも、発生量の増大、リサイクル率の停滞、処分費の増大、公共事業間の連携不足等の課題について対策を検討し、建設副産物の発生抑制及び再利用の促進により、長期的視野に立ったコスト縮減の対策を推進します。

( 施策事例 )

- ・建設発生土流用の情報ネットワークの充実
- ・発生資源材の利用促進など

##### 埋蔵文化財調査

埋蔵文化財については、我が国の歴史、文化等の正しい理解のために欠くことの出来ない貴重な歴史的遺産であるが、公共工事の観点からは工事遅延、調査費の増大等の課題を抱えています。

これに対処するため、連絡調整の円滑化、調査の一層の効率的実施、調査範囲・期間・費用等の標準化等について検討します。

( 施策事例 )

- ・連絡調整システムの整備検討